



飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 早川 敬介
 ガバナー補佐 阿部 次雄
 会長 生田目 正志
 幹事 渡辺 達也

2024-25年度
地区スローガン

ロータリーを
楽しもう!
ENJOY ROTARY LIFE!

2024 - 2025 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
 RI会長 ステファニー・A・アーテック 事務局/〒960-0201 福島市飯坂町字湯町 3 6 - 6 TEL 070-8322-7988 FAX (024)505-4058
 マクマリーRC (アメリカ・ペンシルベニア州)

10月は地域社会の経済発展月間/米山月間

【ロータリー学友参加推進週間(10/7を含む1週間)】

通算

第11回 [3171] 例会報告 令和6年(2024)10月 3日(木)

出席委員会報告

会員総数	39名
出席会員	22名
欠席会員	17名
出席率	56.41%

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 菅野浩司 副会長

◆国歌斉唱 ◆ロータリーソング [奉仕の理想] 服部裕一 ソングリーダー

◆四つのテストの唱和 白岩裕和 職業奉仕委員長

◆お客様紹介 佐藤新一 様、多田周平 様 (佐藤喜市郎会員ご友人・神輿のお手伝い)

【 10月の奥様お誕生日 】 …♪♪♪ おめでとうございます ♪♪♪

10月 12日 渡辺由美子様(哲也会員) 10月 14日 鈴木 典子様(正実会員)

♪ 今週の誕生日 ♪♪♪♪ 10月 5日 岸波 仁 会員 ♪♪♪♪

.....lunch time.....

◆副会長の時間 菅野浩司 副会長



生田目会長が本日からしばらくの間入院となりましたので、私が代理を務めさせていただきます。よろしくお願いたします。まずは報告からですが、土曜日に国際交流フェスティバルが開催されます。先週、私と渡辺幹事、油井国際奉仕委員長、島会員とで9社のマスコミ回りに行っていました。また、本日は朝9時よりすず払いを行いました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。準備も着々と進んでおりますが、皆さんにお願いがございます。ご存知の通り、会長は不在、油井国際奉仕委員長も不幸があり参加ができず、事務局の佐藤さんも初めてのイベントでもあり、渡辺幹事も初めての担当です。特に経験者の会員の方で、ご参加いただける方はご協力をお願いいたします。今日、ロータリーの友10月号と米山豆辞典が配られました。10月は米山月間です。この米山豆辞典には、米山奨学金がどのようなものか全て記載されています。皆様方には来月くらいから、今年度のご寄付をお願いするかと思いますので、よろしくお願いたします。このロータリーの友ですが、実は2017年の佐藤真也会長年度、幹事は私でしたが、その時にこの国際交流イベントを特集した記事が掲載されました。この記事を読んでいただくと、国際交流フェスティバル「ザ・まつり in 飯坂」の全てがわかります。電子版もあり、過去のロータリーの友も全部見られますので検索してみてください。

ロータリーソング 四つのテスト



◆幹事報告 渡辺達也 幹事

1. 月信 「ロータリーの友」10月号 ガバナー月信 10月号 No.4

2. 来信

2-1 ロータリー財団委員会より

2-2 地区規定委員会委員長 芳賀 裕 様より

2-3 国際ロータリー日本事務局より

2-4 10月のロータリーレート 1\$ = 142円

3. メーキャップ報告

「財団室 NEWS 2024年10月号」

「決議審議会の決議案についてのお知らせ」

「2024年10月地域社会の経済発展月間リソースのご案内」

◆国際奉仕委員会からの報告 鈴木牧子 副委員長

午前中のすず払いに参加された皆さん、ありがとうございました。10月1日に今年の概ねの段取りや役割等を決めさせていただきました。参加者については、今のところ42名の方が参加、外国人の方は38名です。朝の宮入から、みんなで協力をして、生田目会長が安心できるように頑張りたいと思いますので、吉川屋さんをお借りしての夜のWrap-up partyにもご協力をお願いいたします。ありがとうございました。

すず払い



<参加者> 吾妻一夫、服部裕一、石川邦俊、伊藤俊憲、菅野浩司、岸波 仁、紺野容樹、斎藤孝裕、佐藤喜市郎、鈴木牧子(鯛のあら汁・おにぎり差し入れ)、鈴木義明、高倉 怜、渡辺達也 以上の会員 佐藤奈緒美 事務局 佐藤新一さん、菅野幸一さん、多田周平さん、丹野純子さん

◆スマイリングBOX

伊堂里佳 小委員長 【合計51s】

千葉 政行	会員	10s
菅野 浩司	会員	5s
吾妻 一夫	会員	5s
小笠原 尚史	会員	5s
齋藤 孝裕	会員	5s
鈴木 牧子	会員	5s
渡辺 達也	会員	3s
伊堂 里佳	会員	3s
紺野 容樹	会員	3s
島 隆章	会員	3s
高倉 博之	会員	3s
高倉 怜	会員	1s

・すみません。旅行中で欠席です。祭りも楽しみにしておりましたが残念です。皆様頑張ってください。
 本日は「すす払い」お疲れ様でした。佐藤喜市郎会員スピーチ楽しみにしております。
 すず払いおつかれ様でした。喜市郎さんスピーチ宜しくお祈りします。
 国際交流フェスティバル成功を願って、欠席おわび お手伝いできずすみません。
 佐藤様、多田様、本日はありがとうございます。牧子さん、ごちそう様でした。とても美味しかったです。
 夫の誕生日に花束をありがとうございます。ごさいます。(Thank you for a bunch of flowers to my hubby's Birthday)
 すず払いに参加された方おつかれ様でした。喜市郎さんスピーチよろしくお祈り致します。
 前回のゴルフコンペ夜間例会欠席してしまい大変申し訳ないです。喜市郎さんスピーチ頑張ってください。
 すず払いおつかれ様でした。喜市郎会員のスピーチ楽しみにしていました。
 今日は午前中出れなくてすみませんでした。
 前回欠席おわび
 喜市郎会員のスピーチ、楽しみにしています。

【ご報告】佐藤新一様より
お酒をいただきました。

◆会員スピーチ

佐藤喜市郎 会員



皆様には私のスピーチが楽しみだということで、スマイリングを入れていただき、ありがとうございます。その期待に添えるか添えないかはわかりませんが、スピーチを試みたいと思います。それではまず、飯坂のお祭りはどういうものなのか、これは私が言っているのではなく、明治の初期あたりの話を私が聞いた話ですので、その辺は今とは少し違うところもありますが、先人の方々が教えてくれたことをこれからお話ししてみます。

飯坂のお祭りの歴史は350年前に始まったと言われていています。これは考え方によりませんが、いつ始まったのかわからないということなのです。文献にも、神社の歴史にもありません。だから私は400年以上と言ってもいいのかなと思います。飯坂のお祭りは、今のような状況ではなかったようで、ひいじいちゃん年代の方の話からすると、江戸後期から明治初めに今のようなお祭り形態になっていたのではないかとすることは確かです。太鼓の打ち方も祇園の流れを汲むと言われていています。しかし、飯坂のこのメロディーはどこに行ってもありません。一番飯坂のテンポに合うのは四国の阿波踊りです。このテンポは飯坂の『流し』にぴったりなのです。以前のお祭りでは太鼓屋台が6台、その他の山車も各町内3台ぐらい出ていました。それに稚児行列などもやっておりましたから、東京からも見に来るくらい、飯坂のお祭りは遠方まで知れ渡っていた時代がありました。今、けんか祭りと言いますが、これは五、六十年前からの名称です。それまでは、ただの「お祭り」でした。お祭り=太鼓祭りなのです。どうして太鼓祭りなのかというと、儀礼太鼓だからです。また、山車や踊り屋台には「山車太鼓」というものもありますので、私の目の黒いうちにこれを後継者に伝えたいと思っております。そうでないとこれはなくなってしまいます。

ここからは、飯坂ロータリークラブが祭りを始めたお話をしたいと思います。私がロータリーに入会して3年目くらいの時に、亡くなった篠木さんが来まして、「あんたがやるって言えばできるんだ。断られたらこの計画はダメになる」と言うのです。当時、飯坂には吉川屋さんや聚楽さんもそうですが、外国人の方を呼んで様々なショーを見せていた時代がありました。近郷近在にいる外国人の方と国際交流と称して、活動をしたということなのです。ただ、芋煮会のような話では本当の繋がりはできないので、神輿を出して担いでもらい、日本の文化に触れて、遊びではなく、本気になって汗をかくわけです。実は当時、芸者組合で買った神輿がありました。この神輿は芸者さんたちが、みんなで小遣いを出し合って買った神輿でしたが、担ぎ手もなく保管してありました。そういうことならば、その芸者さんたちの“粋”を買って、私も御輿をやってやろうと始めました。ロータリーの友に出たのは、飯坂ロータリークラブの「ザ・まつり in 飯坂」が、この2530地区で国際奉仕としてこのくらい一生懸命に活動をしているクラブはないということで取材に来ました。若い方が入会されていますから、今までの流れを知っていただいて、私だってこれから何年できるかわかりませんし、飯坂ロータリークラブの国際奉仕委員会として、これだけ名が知られたのだし、ぜひ継承していただきたいという思いがあります。

お祭りの日には、ご神体を渡御します。渡御はこの地域の安全安心と繁栄を願って神輿が出るわけです。出た神輿はいずれ神社に戻ってきます。それが宮入りです。その時に叩くのが『宮入り』なのです。お神輿が神社に入れば終わりですから、早く終わらなくなかったのが、神社の前で神輿が入るのを阻止するために屋台をぶつけていたのです。その姿を見て、太鼓祭りが勇壮だから、自然とけんか祭りと呼ばれるようになりました。本来は喧嘩するお祭りなんかありません。ただその姿があまりにも勇壮で、傍から見れば危険に見えるのです。皆さんに広範囲に知ってもらうには、けんか祭りという名称の方がいいのでそうなったと思います。

それでは儀礼太鼓、太鼓を叩くということについて、皆さんには知ってもらいたいと思います。お宮入りに入ってくる時に勇壮に叩くのが『宮入り』、『流し』は特に本祭りですが、その本祭りの朝5時、『一番太鼓』と言っているようですが、昔は『ふれ太鼓』と言っていました。『三切り』は各町内に入る時に儀礼のために叩きます。もう一つは、同じ山車同士がすれ違う時に相手を敬って叩きます。また、『下がり半』というのもあります。これは一時期継承されませんでした。それは叩く機会がないからです。いつ叩くのかということと神輿を追い抜く時、神輿とすれ違う時が『下がり半』なのです。夜の帳が落ちて提灯が付いたら、みんな『宮入り』です。そして、鳥居から『下がり半』で入るということには本当の意味があるのです。移譲式に入る時は鳥居の前から上町が叩くわけですが、そうすると御神換が始まったと他の屋台がわかるのです。太鼓というのは自分たちだけではなく、周りに今どういふことをやるのだということを知らしめるために叩くのが太鼓です。だから『宮入り』も自分たちの士気を高めるために、テンポの速い叩き方になるのです。全てはそういった意味があります。それでは、時間となりました。また機会がありましたら、お話しさせていただきます。 ◆閉会点鐘 副会長

■第5回理事会開催 10月3日(木) 13:30~「吉川屋」
 《内容》①11月の例会プログラム ②6クラブ合同例会(蕎麦会)について ③国際交流フェスティバルについて ④ロータリー財団・米山の寄付について ⑤次回理事会11月4日 ⑥その他
 《出席者》菅野浩司、渡辺達也、紺野容樹、高田 薫、齋藤孝裕、鈴木義明、石川邦俊、島 隆章、佐藤喜市郎、齋藤健太、鈴木牧子 以上の会員